



抜粋版

# セミナー

## 2016年 世界のバイテク/GM(遺伝子組換え)作物の 商業栽培に関する状況

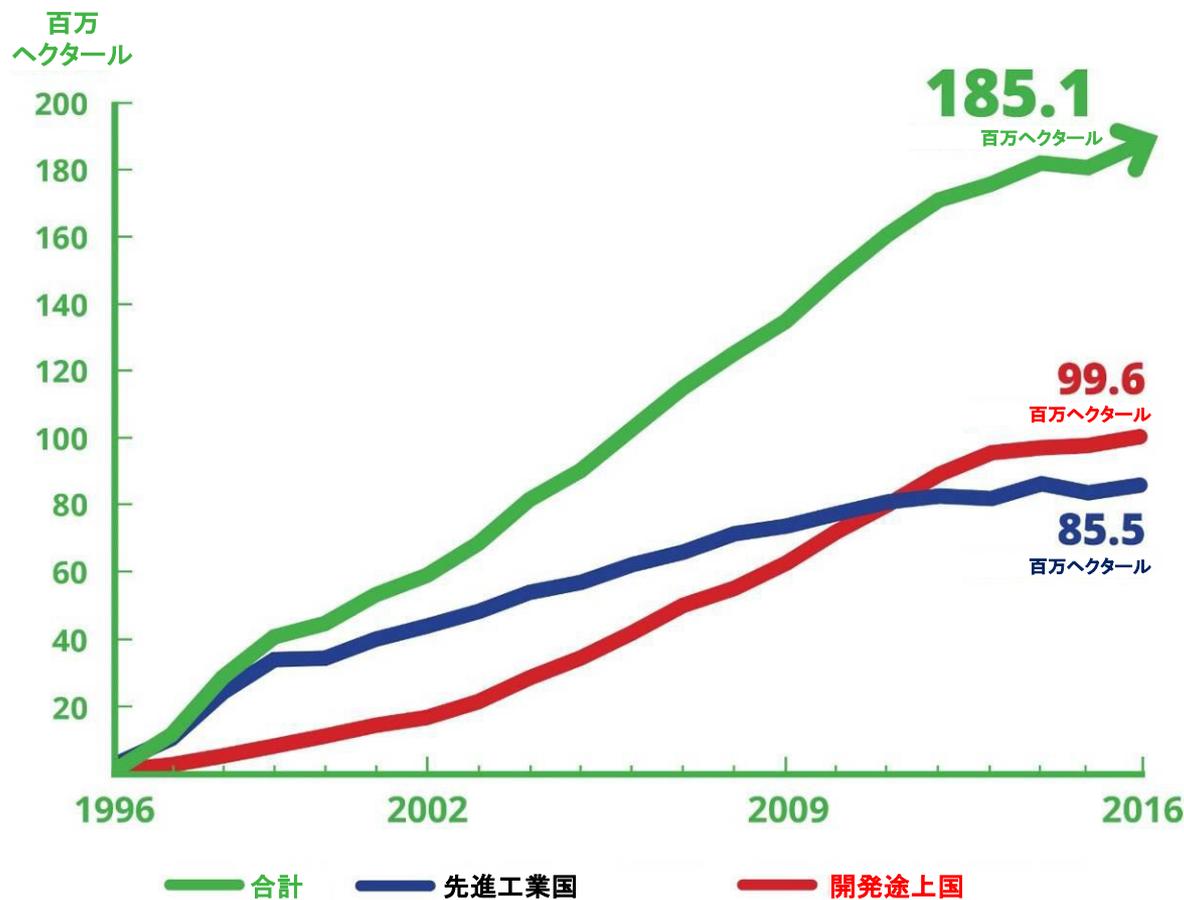
日本(東京)  
2017年5月30日

ロードラ R. アルデミタ博士  
国際アグリバイオ事業団(ISAAA) シニアプログラムオフィサー

国際アグリバイオ事業団(ISAAA)  
International Service for the Acquisition of Agri-biotech Applications

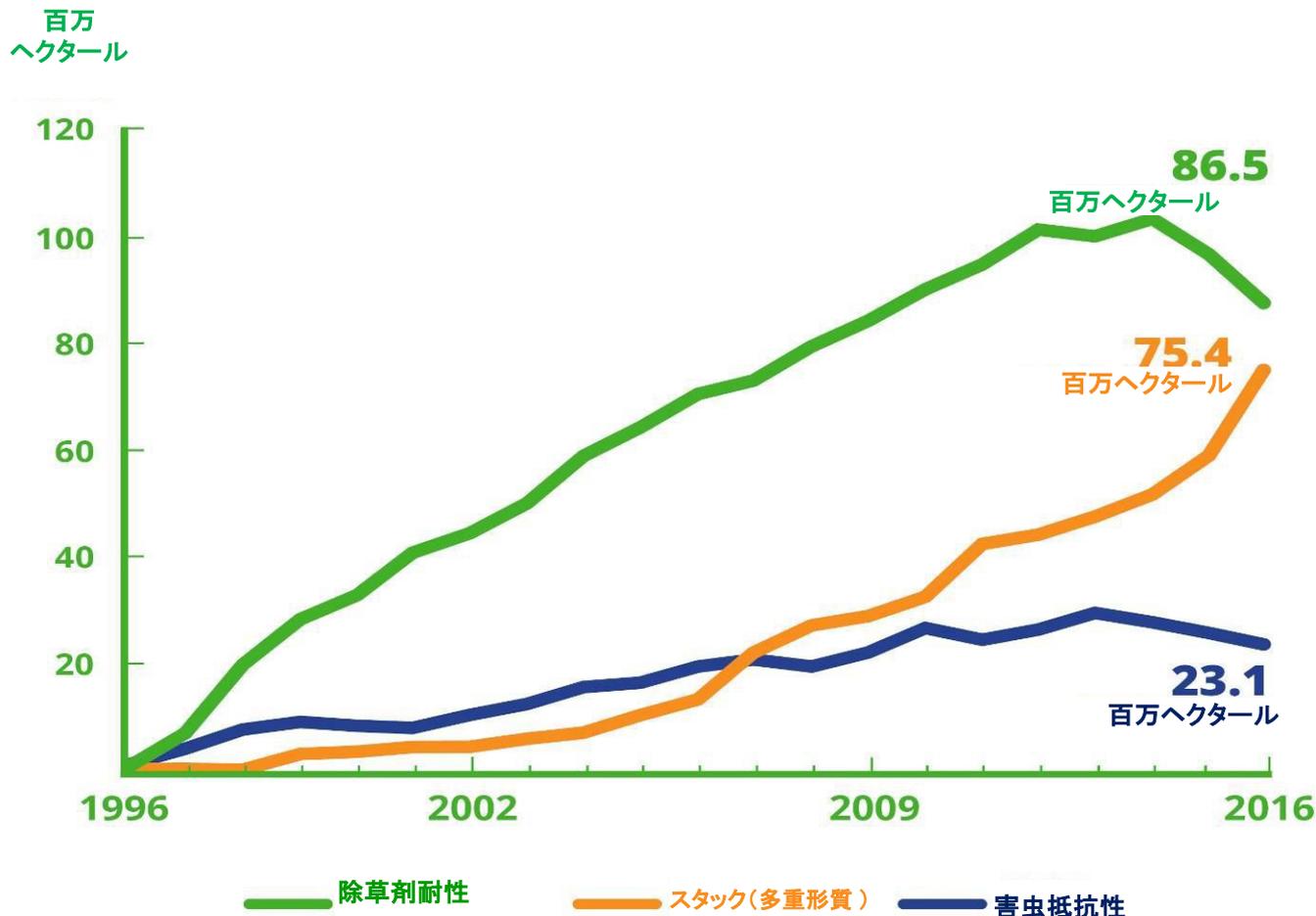


# バイオテク作物の栽培面積推移 1996～2016年 先進工業国と開発途上国の対比



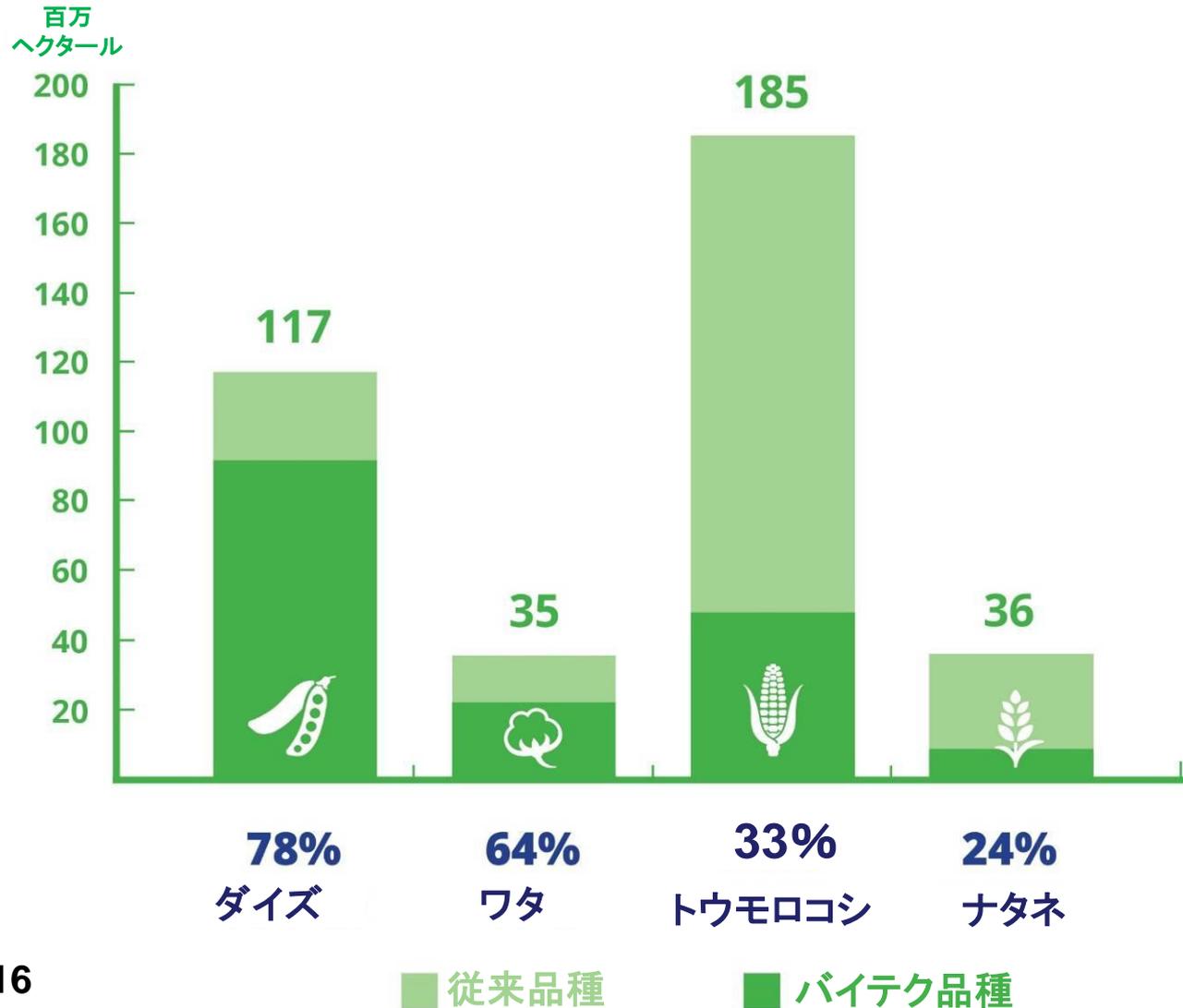
- 栽培面積は1億8,510万ヘクタールにまで達した。
- 1996年の栽培面積から110倍に増加した。
- 栽培面積は累計21億ヘクタールに達した。

# バイオテク作物の栽培面積の推移(世界合計／形質別) :1996～2016年



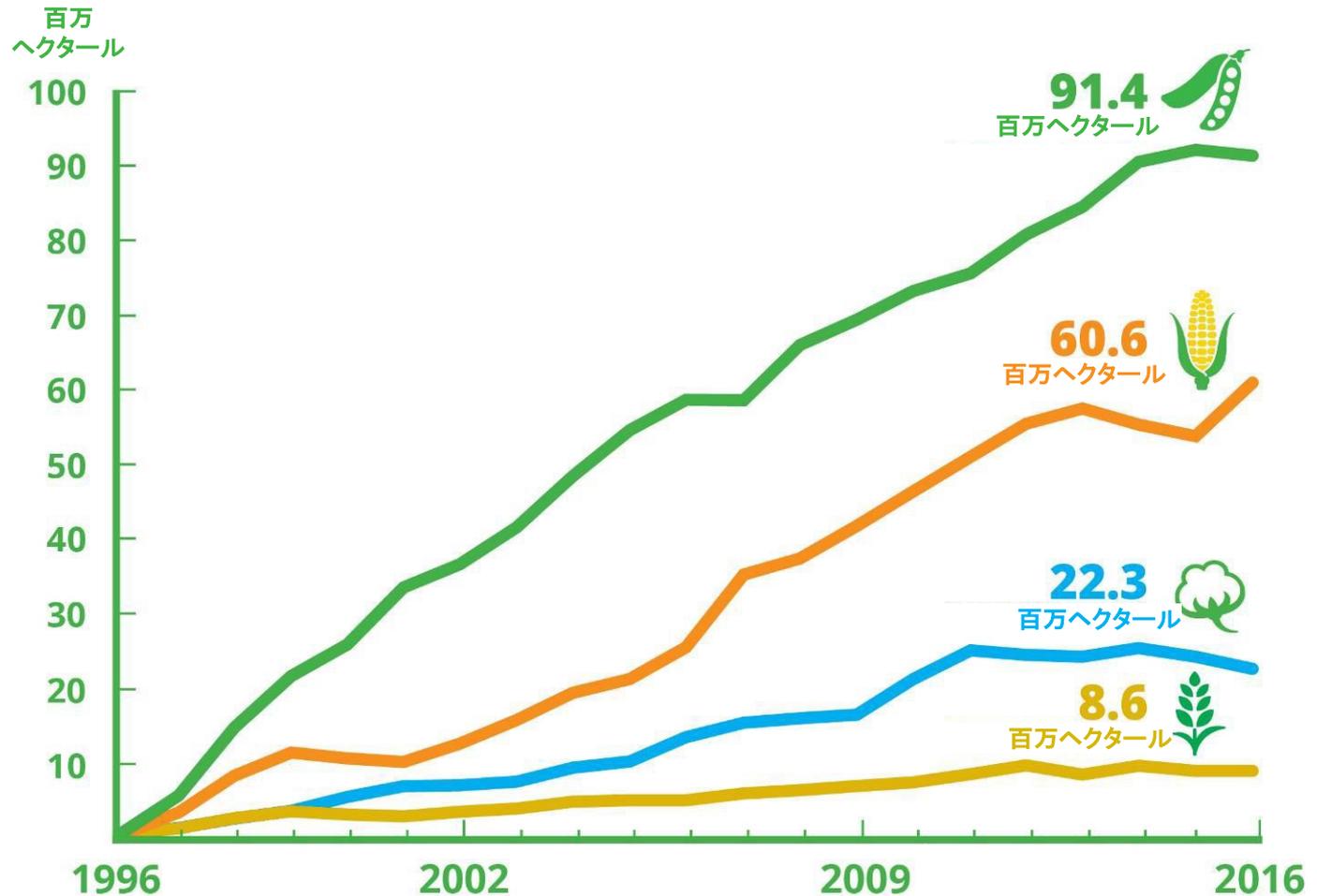
- 世界のバイオテク作物栽培面積のうち、除草剤耐性が47%、スタック形質が41%を占める。

# 主要バイオテク作物の栽培面積(世界合計) と導入率(%):2016年



出典: ISAAA, 2016

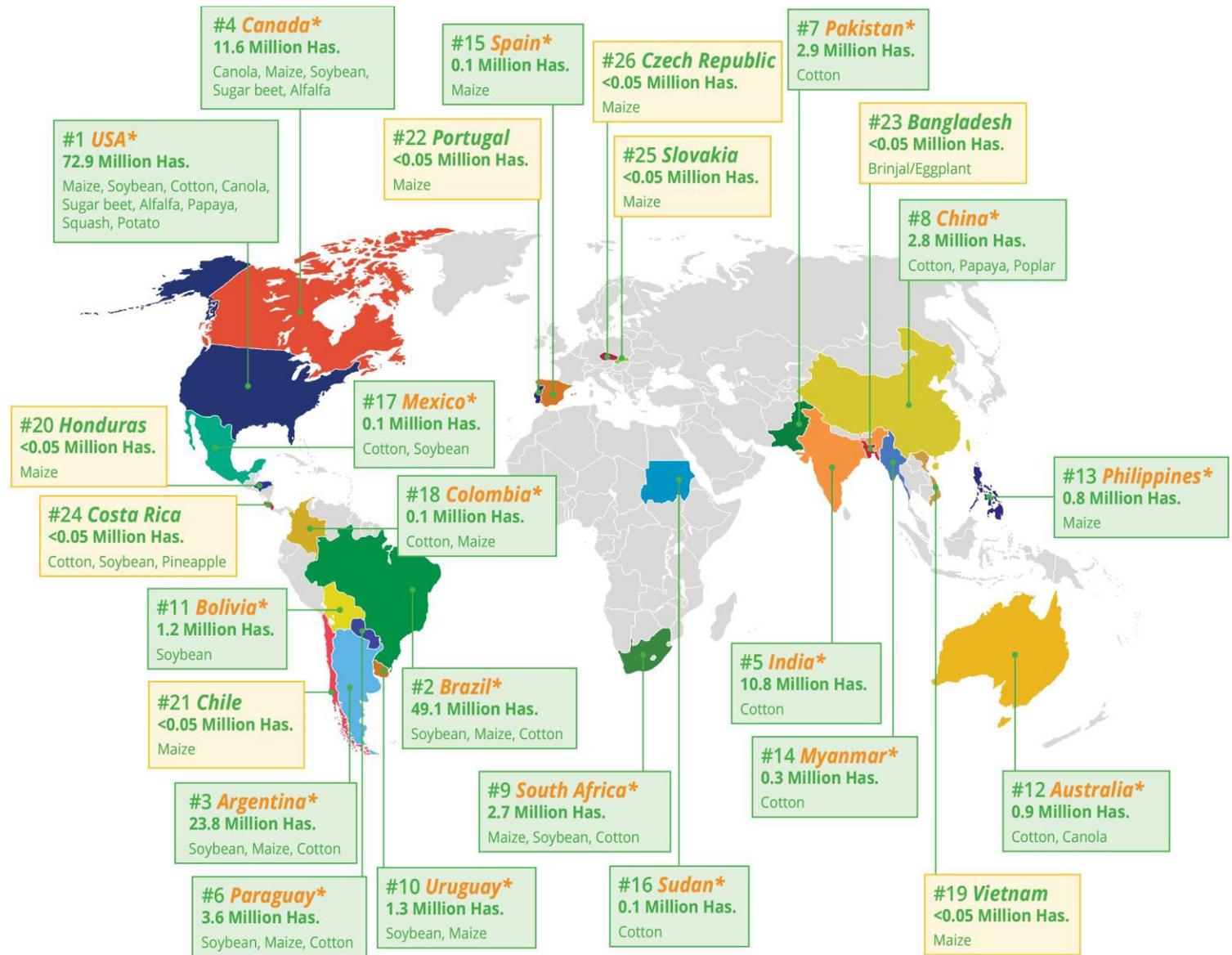
# バイオテク作物の栽培面積の推移(世界合計／作物別) :1996～2016年



• GMダイズの栽培面積は世界におけるバイオテク作物の栽培面積の50%を占める

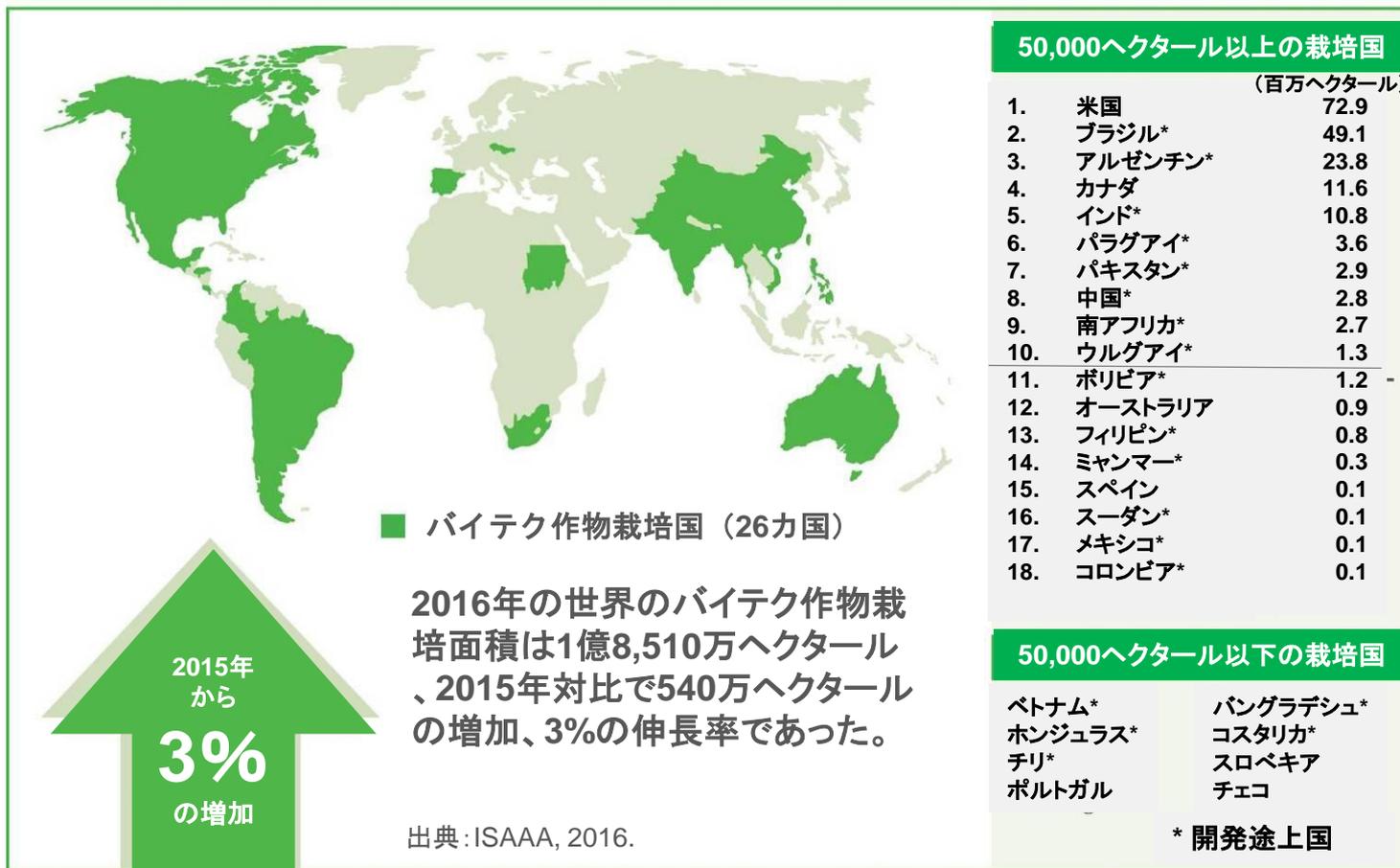
出典: ISAAA, 2016

# バイオテク作物栽培国と主要栽培国\* : 2016年



\*バイオテク作物の栽培面積が5万ヘクタール以上の栽培国(18カ国)

# バイオテク作物の国別栽培状況：2016年



- 栽培面積上位5カ国は開発途上国の3カ国（ブラジル、アルゼンチン、インド）と先進工業国2カ国（米国、カナダ）で、全世界のバイオテク作物の栽培面積の91%を占めた。

**54%**

**19**カ国の開発途上国

**46%**

**7**カ国の先進工業国

1億8,510万ヘクタール

2016年におけるバイオテク作物栽培面積(世界合計)に  
占める先進工業国と開発途上国の割合

出典: ISAAA, 2016.

開発途上国: 9,960万ヘクタール

先進工業国: 8,550万ヘクタール